

2020年度第10回受託研究審査委員会の記録の概要

開催日時：2021年2月17日（水） 16時32分から16時43分

開催場所：静岡医療センター 地域医療研修室

出席委員氏名及び職名

委員長：田邊 潤 （臨床研究部長）

外部委員：青木 千賀子（日本大学国際関係学部非常勤講師）

外部委員：杉村 伸一（社会福祉法人静岡恵明学園赤ちゃんセンター静岡恵明学園園長）

外部委員：山崎 久美子（静岡県立東部特別支援学校 副校長）

委員：小澤 章子（統括診療部長）

委員：高木 亮（薬剤部長）

委員：井上 淳子（看護部長）

委員：宮嶋 由晴（企画課長）

委員：式町 征一（業務班長）

欠席委員氏名及び職名

副委員長：溝口 功一（副院長）

委員：松下 恒久（医局長・消化器外科部長）

委員：鈴木 祥司（副医局長・泌尿器科医長）

委員：森 元春（事務部長）

審議事項

【継続承認】

議題1

課題名：中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象としたウパダシチニブ（ABT-494）の導入療法及び維持療法における安全性及び有効性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照試験

【依頼者：アッヴィ合同会社、開発の相：第Ⅱb/Ⅲ相、対象疾患：潰瘍性大腸炎、被験薬：ABT-494】の継続について

＜当該試験に関係のある委員＞なし

＜審査内容＞

安全性情報等に関する報告書について、試験を継続することの妥当性を審議した。

審議結果：承認する

議題2

課題名：潰瘍性大腸炎患者を対象としたウパダシチニブ（ABT-494）の長期安全性及び有効性を評価する第Ⅲ相多施設共同非盲検継続投与試験

【依頼者：アッヴィ合同会社、開発の相：第Ⅲ相、対象疾患：潰瘍性大腸炎、被験薬：ABT-494】

の継続について

＜当該試験に関係のある委員＞なし

＜審査内容＞

安全性情報等に関する報告書について、試験を継続することの妥当性を審議した。

審議結果：承認する

議題 3

課題名：中等症から重症の活動性クローン病患者を対象としてrisankizumabの有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照導入療法試験

【依頼者：アッヴィ合同会社、開発の相：第Ⅲ相、対象疾患：クローン病、被験薬：ABBV-066】

の継続について

＜当該試験に関係のある委員＞なし

＜審査内容＞

重篤な有害事象に関する報告書、安全性情報等に関する報告書、試験を継続することの妥当性を審議した。

審議結果：承認する

議題 4

課題名：クローン病患者を対象として、risankizumabの有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照52週間維持療法試験及び非盲検継続投与試験

【依頼者：アッヴィ合同会社、開発の相：第Ⅲ相、対象疾患：クローン病、被験薬：ABBV-066】

の継続について

＜当該試験に関係のある委員＞なし

＜審査内容＞

安全性情報等に関する報告書、試験を継続することの妥当性を審議した。

審議結果：承認する

議題 5

課題名：生物学的製剤が奏効しなかった中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象としたrisankizumabの有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照導入療法試験

【依頼者：アッヴィ合同会社、開発の相：第Ⅱb/Ⅲ相、対象疾患：潰瘍性大腸炎、被験薬：ABBV-066】

の継続について

＜当該試験に関係のある委員＞なし

＜審査内容＞

安全性情報等に関する報告書、試験を継続することの妥当性を審議した。

審議結果：承認する

議題 6

課題名：M16-067 試験又はM16-065 試験の導入療法で改善した潰瘍性大腸炎患者を対象として risankizumab の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照52 週間維持療法試験及び非盲検継続投与試験

【依頼者：アッヴィ合同会社、開発の相：第Ⅲ相、対象疾患：潰瘍性大腸炎、被験薬：ABBV-066】
の継続について

<当該試験に関係のある委員>なし

<審査内容>

安全性情報等に関する報告書、試験を継続することの妥当性を審議した。

審議結果：承認する

議題 7

課題名：日本人の中等症又は重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象として OZANIMOD を経口投与したときの有効性及び長期安全性を評価する第 2/3 相多施設共同ランダム化二重盲検プラセボ対照試験

【依頼者：セルジーン株式会社、開発の相：第Ⅱ/Ⅲ相、対象疾患：潰瘍性大腸炎、被験薬：Ozanimod (RPC1063)】

の継続について

<当該試験に関係のある委員>なし

<審査内容>

安全性情報等に関する報告書、試験を継続することの妥当性を審議した。

審議結果：承認する

議題 8

課題名：SI-449 癒着防止システムの開腹による直腸切除術施行患者を対象とした無作為化試験

【依頼者：生化学工業株式会社、開発の相：第Ⅲ相、対象：直腸切除術施行患者、被験機器：SI-449】

<当該試験に関係のある委員>松下委員（分担医師）

<審査内容>

治験に関する変更申請書について、試験を継続することの妥当性を審議した。

審議結果：承認する

報告事項

【終了報告】

中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象としたウパダシチニブ（ABT-494）の安全性及び有効性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照導入療法試験の終了報告が1件あり、迅速審査で承認された。